

1. 経緯

品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014において、品川駅・田町駅周辺は、将来像として「国際交流拠点 品川」を掲げており、リニア中央新幹線や環状第4号線の整備・延伸、品川駅街区地区、品川駅西口地区など、様々なまちづくりの取組が進められています。その一つに、拠点性を高める交通ネットワークの実現に向けて品川駅の地平化と泉岳寺駅から新馬場駅における3つの踏切を解消するため、京急本線および関連鉄道の連続立体交差事業を進めることとなりました。

2. 計画の概要

○都市高速鉄道京浜急行電鉄湘南線（京浜急行本線）

- ・区間 港区高輪二丁目～品川区北品川二丁目
- ・延長 約2.0km（事業区間約1.7km）
- ・構造形式 地下式、地表式、高架式（<sup>かさあげ</sup>嵩上式）
- ・駅施設 品川駅ホーム延長：約221m ホーム幅員：約5m～12m  
北品川駅ホーム延長：約113m ホーム幅員：約2m～5m

○都市高速鉄道第1号線分岐線（京浜急行本線）

- ・区間 港区高輪二丁目～港区高輪三丁目
- ・延長 約0.9km
- ・構造形式 地下式、地表式

3. 立体化により除却される踏切（3か所）

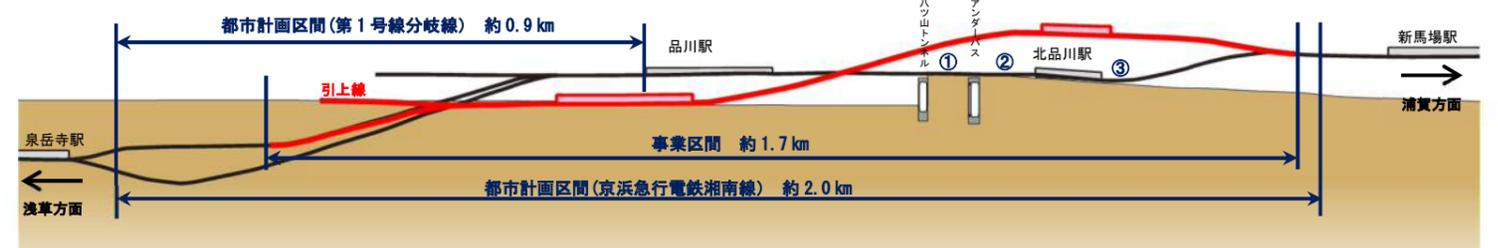
	踏切道の名称	道路名称	踏切道の現況幅員
①	品川第一踏切道	特別区道 幹線一級4号	24.4m
②	品川第二踏切道	特別区道 準幹線30号	8.0m
③	北品川第一踏切道	特別区道 Ⅲ一1号	7.2m

4. 連続立体交差化計画の概略図

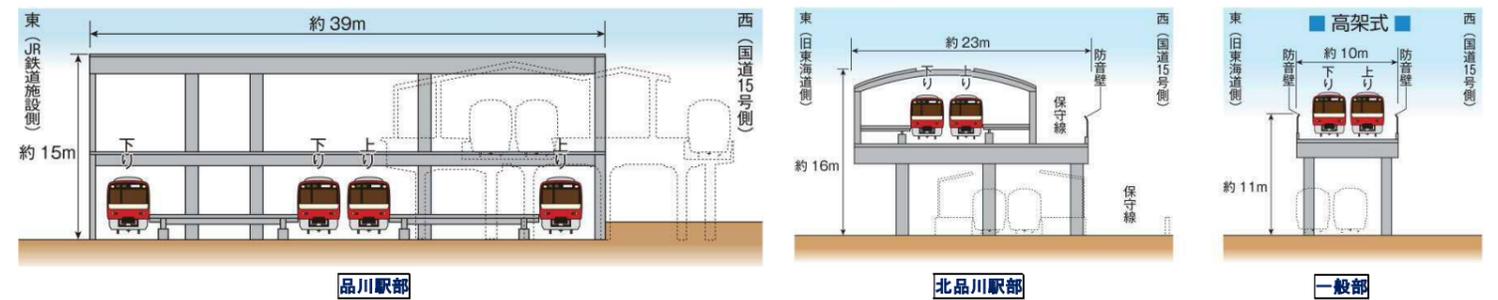
○平面図



○縦断図（泉岳寺側から新馬場方面を見た図）



○標準横断図



5. 都市計画手続きの流れ

